

③

都とみちのくをむすぶ

人とモノが行き交った
古代のメインストリートをゆく

東山道



とちぎ
いにしへの
回廊



歴史への
しどない

ぶらり
散策

歴史への
いざない

都とみちのくを むすぶ東山道



下野国庁 復元模型



長者ヶ平官衙遺跡 (那須烏山市・さくら市:那須烏山市教育委員会提供)

大宝元(七〇二)年に大宝律令が制定されると、都と地方を緊密にむすぶ「官道」が整備されました。東山道は七つあった官道のうちのひとつで、現在の滋賀県から岐阜・長野・群馬・栃木の各県を通り抜け、宮城県が多賀城からは岩手と秋田両県の二手に分かれた、当時の日本で最も長い道でした。

官道には原則として、三十里(約十六キロメートル)ごとに「駅家」と呼ばれる施設が造られました。栃木県内には、七つの駅家があったとされています。近年の発掘調査や研究成果などから、少しずつ東山道の姿がわかるようになりました。当時の東山道は中央集権的支配を確立するために整備され、軍事目的あるいは経済基盤の確保に大きな役割を果たしました。さらに東山道を経由して、都からの文化や大陸からの技術ももたらされました。

都と地方をむすぶ大きな道がもたらした様々な足跡を、わたしたちは今に伝わる文化財から見つけることができます(しょう)。



東山道跡 (杉村遺跡:宇都宮市) 南(写真手前)から北にかけて白線で示したのが東山道跡。現在は「インターパーク宇都宮南」という商業施設として整備されている



那須郡衙正倉出土瓦 (那珂川町教育委員会提供)

三毛山

みかもやま

ろ-6

万葉集にも詠まれた農耕祭祀の山

関東平野の北端にある秀麗な山で、国土交通省関東地方整備局「関東の富士見百景」に選ばれている。東山道の関所「三毛の関」がおかれていたと考えられる。

みかも山公園／佐野市・栃木市
P ○ (みかも山公園)
ii ○ (みかも山公園)



下野国エリア

小野寺山大慈寺

おのでいらんじや

ろ-5

慈覚大師円仁が修行した古刹

天平九(七三七)年、行基が開山・建立したとされ、県内に現存する最古の寺院。境内周辺には散策コースが設けられ、四季折々の景色が楽しめる。

栃木市岩舟町小野寺
P ○ ii ○



村檜神社

むらひのじんじや

ろ-5

檜皮葺の本殿が美しい下野国三之宮

大化二(六四六)年の創建と伝わる。現在の本殿は天文(一一五三)年に建てられ、本殿左方の柱には左甚五郎作と伝わる瓜の彫刻がある。

栃木市岩舟町小野寺
P ○ ii ○



下野国庁跡

しもつけこくちやあて

ろ-5

古代下野国の行政の中心地

八世紀前半から十世紀初め頃にかけて置かれた古代下野国の役所跡。現在は整備され、脇殿跡にある藤棚は、柱の位置や太さ、軒の高さを復元して建てられている。

栃木市田村町
P ○ ii ○



市指定跡

下野惣社「室の八嶋」

しもつけそうじや(むろのやま)

ろ-5

下野国のトップが毎朝参拝した神社

平安時代、国司が下野国中の神々を集めて祀った神社。近くには、古来より歌枕(和歌に詠まれた名所)とされた「室の八嶋」を再現した池がある。

大神(おみ)神社／栃木市物社町
P ○ ii ○



国指定跡

下野国分寺跡

しもつけこくぶんじあて

は-5

古代下野国の仏教文化の発信地

奈良時代、全国六十数カ所に建てられた国立寺院のひとつ。現在は建物の基壇などが整備され、広場には春に白い花を咲かせるイワタレンゲが植えられている。

下野市国分寺
P ○ (天平の丘公園) ii ○ (天平の丘公園)



国指定跡

下野薬師寺跡

しもつけやくしあて

は-5

古代東国仏教の中心寺院

七世紀末頃の創建と考えられる。八世紀中ごろには、全国に三ヶ所のみ戒壇(かいだん)／国が僧侶の資格を与える場所)が置かれるなど、国の重要な寺院だった。

下野市薬師寺
P ○ (下野薬師寺歴史館) ii ○ (下野薬師寺歴史館)



県指定建造物

薬師寺八幡宮

やくしじはちまんぐう

は-5

下野薬師寺の守り神として鎮座

貞観十七(八七五)年創建と伝わる。本殿と拜殿は江戸時代初期、この地を治めていた秋田藩主佐竹氏の援助で再建。災難・厄除けの八幡さまとして親しまれている。

下野市薬師寺
P ○ ii ○



国指定重要建造物

村檜神社

むらひのじんじや

ろ-5

檜皮葺の本殿が美しい下野国三之宮

大化二(六四六)年の創建と伝わる。現在の本殿は天文(一一五三)年に建てられ、本殿左方の柱には左甚五郎作と伝わる瓜の彫刻がある。

栃木市岩舟町小野寺
P ○ ii ○

下野国庁跡

しもつけこくちやあて

ろ-5

古代下野国の行政の中心地

八世紀前半から十世紀初め頃にかけて置かれた古代下野国の役所跡。現在は整備され、脇殿跡にある藤棚は、柱の位置や太さ、軒の高さを復元して建てられている。

栃木市田村町
P ○ ii ○



国指定跡

下野国分尼寺跡

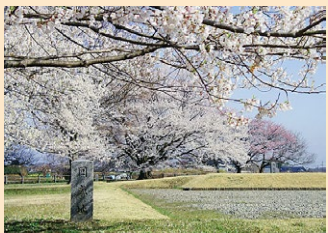
しもつけこくんにじあて

は-5

女性たちが祈りを捧げた寺院跡

国内初の国分尼寺跡発掘調査が行われた史跡。現在公園として整備され、岐阜県根尾村(現／本巣市根尾地区)の老人クラブから譲り受けた淡墨桜(すずみざくら)／国天然記念物)が植えられている。

下野市国分寺
P ○ (天平の丘公園) ii ○ (天平の丘公園)



市指定跡

北台遺跡【推定東山道跡】

きただいゐせき(すいていとうざんとあて)

は-5

東山道跡を復元した憩いの場

県内で一番南の地点で確認された東山道跡。現在は公園として整備され、東山道の幅約十メートルの道跡が表現されている。

久保公園／下野市小金井二丁目
P X ii X



国指定跡

飛山城史跡公園

とひやまじやうしせきえん

は-4

古代の「のろし」設置跡が残る

国土交通省関東地方整備局選定「関東の富士見百景」のひとつ。平安時代初期の集落跡から「烽火(とびひや)」と書かれた土器が見つかり、連絡のためののろし台があったと考えられる。

宇都宮市竹下町
P ○ ii ○ ※開園時間等は「博物館・資料館」ページ「こひやま歴史体験館」参照



市指定天然記念物

将軍桜

しょうぐんざくら

は-4

樹齢約二百五十年の山桜が古道を見守る

山桜の太木で、根元を通る道が東山道の名残をとどめる。約一キロメートル先には、役所跡である「長者ヶ平官衙(ちようちやがだいらかんが)遺跡(国指定史跡)」がある。

さつぐん市猿岡田
P X ii X



国指定跡

那須官衙遺跡

なすかんがゐせき

に-3

古代那須地域の政治と文化の拠点

奈良時代の頃に造られた那須郡の役所跡。箒川(ほうきがわ)右岸の丘陵地に築かれ、現在礎石(そせき)を用いた建物跡等を見ることが出来る。

那珂川町小川
P ○ (ふるさとの森公園) ii ○ (ふるさとの森公園)



国宝

那須国造碑

なすのくにのくにのくにのくに

に-3

日本三古碑のひとつ

文武四七〇〇(年頃、那須直章提(なすのあたいたいで)の業績をたたえ、跡継ぎの意斯麻呂(おしまろ)らにより建立。現在、笠石神社の御神体として祀られている。

大田原市湯津上
P ○ (笠石神社) ii ○ (笠石神社)



国指定重要建造物ほか

那須神社「金丸八幡宮」

なすじんじや(かままるはちまんぐう)

に-2

芭蕉も参拝した武運の神を祀る

四世紀末頃の創建とも、征夷大將軍坂上田村麻呂が八幡宮にしたとも伝えられる。源義家や那須与一もここで武運を祈念したという。

大田原市南金丸
P ○ (道の駅那須与一の郷) ii ○ (道の駅那須与一の郷)



町指定跡

追分の明神

おひわけのみよじん

に-2

国境を挟んで護る峠の神

延暦十(七九)年、坂上田村麻呂が征夷の途上で勸請(かんじよう)したと伝えられる。東山道沿いにあり、目の前はもつみちのくである。

住吉玉津島神社／那須町養沢
P X ii X



203 087 476*14

ぶらり 散策

東山道近辺に残る
古代の痕跡を探して

駐車場 トイレ マップコード



国指定
史跡 宇都宮市茂原町
上三川町上神主

かみこうぬし もばらかんが

上神主・茂原官衙遺跡

7世紀後半から9世紀にかけて営まれた古代下野国の河内郡役所跡と考えられる。遺跡の南東部には、周辺の調査から東山道が通っていたことが考えられる。

39 151 524



宇都宮市インターパーク6丁目

ことひらづか

琴平塚古墳

5世紀末から6世紀初め頃に造られた前方後円墳。その脇を東山道が通り抜けていた。現在公園として整備され、近隣の古墳で出土した実物の箱式石棺（はこしきせっかん）を見ることができる。

39 244 593



那珂川町健武

たけぶやま

健武山神社

大同元（806）年創建と伝えられ、産金の神様を祀っている。鎮守の森に包まれた本殿の屋根に陽の光があたると、黄金色に輝いて見える。

222 578 563

栃木県内の出来事

（国内の主な出来事）

年代

7世紀

大化の改新（乙巳の変:いっしのへん）が始まる（645年）

那須国が下毛野国に編入され「那須評（郡）」となる

壬申の乱がおきる（672年）

この頃、下野薬師寺が創建される

藤原京ができる（694年）

那須国造直韋提が死去（700年）

8世紀

大宝律令施行（701年）

平城京へ遷都（710年）

この頃、各地で役所が整備されはじめる
（那須官衙遺跡、上神主・茂原官衙遺跡）

国名が「下毛野国」から「下野国」になる

那須国造碑建立される

この頃、東山道が整備される
この頃、下野国庁ができる

国分寺（僧寺・尼寺）建立の詔（741年）
下野国分寺、下野国分尼寺が創建される

勝道上人が男体山を登頂した後、
日光山を開いたとされる（766年）

道鏡が造下野薬師寺別当に任じられ配流される（770年）

平安京へ遷都（794年）

坂上田村麻呂、征夷大將軍に任命される（797年）

9世紀

円仁が遣唐使の一員として入唐。
仏教を学ぶ（838年、847年帰国）

10世紀

平将門、下野国庁を襲撃（939年）
藤原秀郷と平貞盛が平将門を破る（940年）

下野国庁跡資料館

【所在】栃木市田村町300

【問】0282-27-8900【開】9時半～16時半(入館は16時まで)【休】月、火、(祝休日の場合は開館、翌日休館)年末年始(12月25日～1月7日)※その他資料整理等臨時休館あり【料金】無料【駐車場】あり



さくら市ミュージアム — 荒井寛方記念館 —

【所在】さくら市氏家1297

【問】028-682-7123【開】9時～17時(入館は16時半まで)【休】月(祝休日は開館)祝休翌日(土日の場合は開館)第3火曜日、展示替え期間、年末年始(12/29～1/3)【料金】一般300円(210円)高校、大学生200円(140円)小、中学生100円(70円)※()は20名以上の団体料金【駐車場】あり



とびやま歴史体験館 [飛山城史跡公園]

【所在】宇都宮市竹下町380-1

【問】028-667-9400【開】9時～17時(入館は16時半まで)【休】月(祝休日は開館)祝休翌日(土日の場合は開館)年末年始【料金】無料(体験メニューは別途料金あり)【駐車場】あり



下野薬師寺歴史館

【所在】下野市薬師寺1636

【問】0285-47-3121【開】9時～17時(入館は16時半まで)【休】月(祝休日は開館)第3火曜日、祝休翌日(土日の場合は開館)年末年始【料金】無料【駐車場】あり



下野市立しもつけ風土記の丘資料館

【所在】下野市国分寺993

【問】0285-44-5049【開】9時～17時(入館は16時半まで)【休】月(祝休日は開館)第3火曜日、祝休翌日(土日の場合は開館)年末年始、【料金】無料【駐車場】あり

那珂川町なす風土記の丘資料館
大田原市なす風土記の丘湯津上資料館

【所在(那珂川町)】那珂川町小川3789

【問】0287-96-3366

【所在(大田原市)】大田原市湯津上192

【問】0287-98-3322【開】9時半～17時(入館は16時半まで)【休】月(祝日の場合は開館)祝休翌日(土日の場合は開館)年末年始(12月29日～1月3日)、臨時休館日あり【料金】一般100円(80円)学生50円(40円)※()は20名以上の団体料金【駐車場】あり



那須のゆりがね ～産金と歌枕～

那須地方で金が産出されていたことはあまり知られていません。天平19(747)年、那須地方から金が産出されたことが朝廷に報告され、大仏建立にも使われました。そして承和2(835)年には、採金地に鎮座する武茂神(健武山神社)に高い位が授けられたことが『続日本後紀』に記載されています。また那須の産金は、和歌の歌枕「那須のゆりがね」(土砂にまじっ

ている砂金を水中で揺すって選び分けること)として詠まれていました。鎌倉時代のはじめ、後嵯峨天皇の皇子宗尊親王は、恋のままならなさを砂金の収集方法とかけて詠んでいます。

あふ事は 那須のゆり金いつまでか
砕けて恋に沈み果つべき(ゆり板の底に沈む砂金のように、この恋も沈んだままになるのだろうか)



砂金 武茂(むも)川より採集
(那珂川町なす風土記の丘資料館提供)



【表紙写真：左上から】村檜神社本殿（部分）／三轟山／下野薬師寺創建期瓦／飛山城跡出土墨書土器（県指定）／下野薬師寺跡（復元回廊）

「とちぎいにしえの回廊」とは

古くから自然と人間とのかかわりを通じて、人びとの生活の中から生まれ、大切に守られてきた文化財。このプロジェクトは、栃木県内に残る貴重な文化財を7つのテーマ（川と古墳、^{とうさんどう}東山道、中世武士団、日光への道、近代化遺産、おくのほそ道、くらしと水）から紹介することで、文化財という「宝」を知ってもらい、また新たな魅力を発見してもらおうプロジェクトです。

また、専用WEBサイトを開設しました。こちらでは、特集ページのほか、県内の文化財やお祭り・伝統行事の開催情報の提供など、本パンフレットに掲載されていない情報が掲載されています。ぜひチェックしてみてください。



<https://www.inishie.tochigi.jp>

関係連絡先一覧

栃木県教育委員会事務局文化財課

☎028-623-3424

栃木市教育委員会事務局文化課

☎0282-21-2497

下野市教育委員会事務局文化財課

☎0285-32-6105

宇都宮市教育委員会事務局文化課

☎028-632-2768

さくら市教育委員会さくら市ミュージアム

— 荒井寛方記念館 —

☎028-682-7123

大田原市教育委員会事務局文化振興課

☎0287-98-3768

上三川町教育委員会事務局生涯学習課

☎0285-56-9159

那珂川町教育委員会事務局生涯学習課

（那珂川町なす風土記の丘資料館）

☎0287-96-3366

那須町教育委員会事務局生涯学習課

☎0287-72-6565

写真提供・協力者（敬称略）

宇都宮市教育委員会／笠石神社／さくら市ミュージアム

— 荒井寛方記念館 —

／佐野市教育委員会／（一社）下野市

観光協会／那珂川町教育委員会／那須

烏山市教育委員会

発行

栃木県教育委員会事務局文化財課

〒320-8501 栃木県宇都宮市埴田 1-1-20

マップコードとは？



2014（平成26）年3月 第1刷発行
2015（平成27）年7月 第2刷発行
2018（平成30）年3月 第3刷発行
2021（令和3）年3月 第4刷発行

※「マップコード」および「MAPCODE」は（株）デンソーの登録商標です。「マップコード」の使い方については、開発元の（株）デンソーのホームページをご参照ください。

<https://www.denso-communications.jp/mapcode/whats.html>